**AsiaNet 96332**

**LenioBio社、無細胞タンパク質合成のための高収率真核生物プラットフォームで**

**工業規模に到達**

デュッセルドルフ、ドイツ、2022年6月8日 /PRNewswire/ -- LenioBio社は本日、無細胞タンパク質合成（CFPS）プラットフォームであるAliCE（R）の工業規模への線形スケーリングに成功し、同社にとって重要なマイルストーンを達成したことを発表しました。

一連の画期的な開発により、AliCE（R）は、大規模なプロセス開発と最適化を必要とせず、タンパク質の収量を損なうことなく、最大10リットルの反応容量で最大3g/リットルの複雑な機能性タンパク質を生産することができるようになりました。 これは、真核生物タンパク質発現における重要な一歩を提供するものです。

AliCE（R）のスケールアップは、他の無細胞発現系と比較して、生細胞のタンパク質生産機構をそのまま維持するという独自の成果を上げていることが大きな差別化要因となっています：活性エネルギー供給と、タンパク質のフォールディング、ジスルフィド結合、グリコシル化に必要なすべてのものを提供します。

CFPSシステムは、細胞ベースのタンパク質の代替品と比較して、タンパク質生産時間の短縮（数時間対数ヶ月）、生細胞に対して通常有毒なレベルのタンパク質を生産する能力など、多くの利点を提供します。 しかし、工業用タンパク質製造におけるCFPSの広範な採用は、スケールで確実に動作するシステムの欠如によって妨げられています。

CEOのRemberto Martisは次のように述べています：「この重要なマイルストーンに到達するために、業界とコラボレーションパートナーから受け取った反応に非常に興奮しています。 LenioBioのCFPSシステムのスケーリングは、真核生物の翻訳後修飾を持つ複雑なタンパク質を生産する能力と相まって、研究開発を超えた多くのアプリケーションへの扉を開きます。」

無細胞ライセートの大量生産に対する将来の需要に対応するため、同社は生産能力を100Lに拡張しています。

この技術のスケールアップは、EUのHorizon 2020プログラムによる2年間のPEPPERプロジェクト（881025）の成果の一つであり、2022年2月に無事終了しました。LenioBioは、6月13日～16日に開催される2022年BIO国際大会の欧州イノベーション評議会パビリオン（ホールC、ブース番号1911）内に出展します。 チームは、これと会社の他の最近の動向について喜んで議論します。

**LenioBioについて**

LenioBio社は、細胞の制限を受けないタンパク質の発見、開発、大量生産のための革新的な技術を推進するタンパク質発現プラットフォーム企業です。

LenioBioは、2016年9月にドイツで法人として設立され、デュッセルドルフにオフィス、アーヘンに研究開発・生産ラボを有しています。 詳細については、[Leniobio.com](https://www.leniobio.com/)（<https://www.leniobio.com/> ）をご覧いただき、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/leniobio-gmbh/)（<https://www.linkedin.com/authwall?trk=gf&trkInfo=AQEP_zXakh_K0gAAAYFaywro7ICOI8DLkEY8Evr9l3Tza2cLQlI3t667R5o3pIrFLrq2dUKfvNSZ9rs3SVnmLtl57Wnwz7caXGnhLqSK51RzQZOPJp8FMmKvkPd5kUtVOM6kxno=&original_referer=&sessionRedirect=https%3A%2F%2Fwww.linkedin.com%2Fcompany%2Fleniobio-gmbh%2F> ）でLenioBioをフォローしてください。

写真 - [https://mma.prnewswire.com/media/1780624/Quint.jpg](https://mma.prnewswire.com/media/1832436/LenioBio.jpg)

ロゴ - <https://mma.prnewswire.com/media/1758134/LenioBio_Logo.jpg>

Kate Bailey, K.bailey@leniobio.com, +49 1712067094